

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号
特開2022-39987
(P2022-39987A)

(43)公開日 令和4年3月10日(2022.3.10)

(51)Int. Cl. F I テーマコード (参考)
C 0 9 K 9/02 (2006.01) C 0 9 K 9/02 B

審査請求 未請求 請求項の数 9 O L (全 16 頁)

<p>(21)出願番号 特願2021-121068(P2021-121068) (22)出願日 令和3年7月21日(2021.7.21) (31)優先権主張番号 特願2020-143053(P2020-143053) (32)優先日 令和2年8月26日(2020.8.26) (33)優先権主張国・地域又は機関 日本国(JP)</p>	<p>(71)出願人 598015084 学校法人福岡大学 福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号 (74)代理人 100182084 弁理士 中道 佳博 (74)代理人 100207136 弁理士 藤原 有希 (72)発明者 三島 健司 福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号 学校法人福岡大学内 (72)発明者 相田 卓 福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号 学校法人福岡大学内</p>
--	--

最終頁に続く

(54)【発明の名称】被覆フォトクロミック微粒子の製造方法およびそれを用いた被覆フォトクロミック微粒子の製造装置

(57)【要約】

【課題】 使用するフォトクロミック化合物の種類に関わらず、所望のフォトクロミック微粒子を効率良く製造することができる、被覆フォトクロミック微粒子の製造方法およびそれを用いた被覆フォトクロミック微粒子の製造装置を提供すること。

【解決手段】 本発明の被覆フォトクロミック微粒子の製造方法は、フォトクロミック芯材粒子と高分子と極性溶媒と低極性有機溶媒との予備混合物に超音波を直接照射してO/Wエマルジョンを調製する工程、閉塞された容器内において、O/Wエマルジョンを超臨界流体と混合する工程、および閉塞された容器内を開放する工程を包含する。

【選択図】 図6



実施例1で得られた被覆フォトクロミック微粒子(E1)